



花嫁行列(山東町)

■ 第9回(9月) 定例会

決算	2～4
条例／補正予算	5
賛否の状況	6
アンケート結果報告	7
調査報告／タブレット供用開始	8～9
市政を問う(一般質問)	10～17
ようこそ朝来市へ／日程(12月定例会)	18

9会計の決算を認定

9月議会定例会では、初日（2日）に、平成30年度一般会計及び8件の特別会計決算の認定について市長から提案され、予算決算特別委員会に付託し審査を行いました。

最終日（30日）に審査結果が報告され、一般会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計については賛成多数、その他の特別会計は全会一致で認定しました。

平成30年度一般会計の決算総額は、歳入216億2,491万円、歳出210億1,070万円で、差し引きの形式収支は6億1,421万円、翌年度への繰越財源2億7,014万円を差し引いた実質収支額は3億4,407万円の黒字決算となりました。

また、国民健康保険、下水道事業、介護保険など8つの特別会計決算は、全ての会計において黒字、もしくは均衡した決算となっています。



一般会計質疑

吉田議員

問 移住・定住支援の成約数は14件、1件当たりの費用は約30万円と非常に高額。費用対効果は低く、抜本的見直しが必要。

答 平成29年5月から委託を始めた事業。積算方法も含め検討する時期であり、見直したい。

問 温水プールくじらが導入している地中熱交換システムは非常にコストがかかる。この問題の結論はいつまでに出すのか。

答 今年度、設計業者に委託しコストの比較を行っている。雨漏りの対応等、躯体の調査と併せて、今年度中に一定の方向性を見出していきたい。

鈴木議員

問 予防接種事業をどう評価しているか。

答 65歳以上のインフルエンザ予防接種については、重症化を予防するという目的を一定程度達成しており、今年度から一部負担とし、より集団生活による感染リスクが高い小児の接種に財源を充てるなど子育て支援に回すこととした。



▲今年も賑わった但馬・食文化まつり

問 今年度で終了する食文化まつりについての評価は。

答 但馬3市2町の食を中心としたイベントで、広く集客できるものとして定着してきた。来年からは、県が主催している但馬まるごと感動市と統合した新たなイベントとして開催できるよう県民局と調整している。

問 老朽空家に対する除却見込件数は、さらに増えることが予測されるのか。

答 平成28年の実態調査で老朽住宅が53カ所あった。今後も増える傾向であり、除却支援事業等についても増加傾向にある。

評価としての議会

岡田議員

問 こども園職員の時間外勤務時間が多いが、全ての園にタイムカードが設置され適正に運用されているか。保育士不足にどう取り組んでいるか。

答 一人当たり月平均6時間の時間外勤務があり、その主な要因は、毎月1回の職員会議である。タイムカードは本年7月に全ての園に設置した。保育士の募集は、昨年から常に行っており、今年度は、保育実習の依頼があった学校に直接、採用試験の案内を行った。

問 要保護・要保護児童就学事業の入学準備金補助について、申請者が少ないという課題があるが。

答 十分周知ができていない可能性があり、説明回数を増やすなど制度の周知徹底を図りたい。

日下議員

問 兵庫県下でもかなり高い水準で自殺者が増えているが。

答 昨年、自殺対策計画を策定した。関係機関等と連携しながら、自殺を防ぐ事業に計画的・包括的に取り組んでいきたい。

反対討論

鈴木議員

● 但馬空港利用促進については、平成28年度からふるさと寄附者にも補助金が適用され、市に来訪するにも限らない方にも補助金が交付されている。利用者の3人に2人がふるさと寄附者という状況は、ふるさと納税の主旨から見ても疑問がある。

● 介護保険料が月額880円、年額10,560円増加した。

● 保険料や利用料の値上げをせず、制度の充実を図り安心できる制度とするには、公費負担割合を大幅に増やすべきだ。

● 問題の多いマイナンバー制度には反対する。

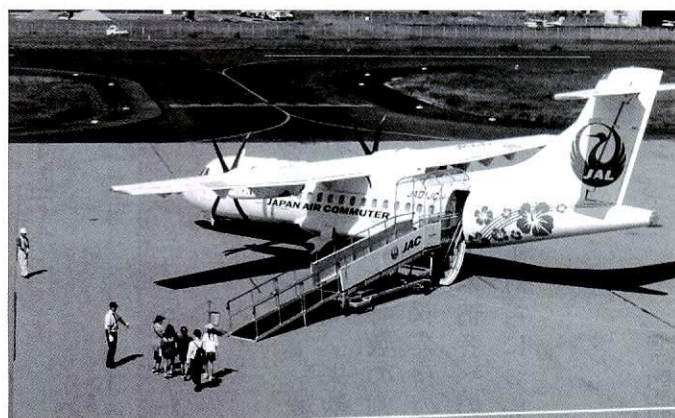
賛成討論

足立議員

○ 厳しい人口減少社会の中、財政健全化の確保に努力し、一定の前進・成果があり、黒字決算となった。将来負担比率が大幅に改善されるなど、明るい内容が見受けられる。

○ 多くのふるさと寄附者が但馬空港を利用していることで、

市の交流人口が増え朝来市ファンが増えたことも、寄附額県下3位という結果に繋がっていると考えられる。また、工業誘致には空港の存在が有利な条件だ。広い視野で見れば、但馬地域や市の活性化に貢献し、市のイメージアップにも繋がっている。さらに、防災・減災の重要性が叫ばれる昨今、空港は防災基地の機能も併せ持つ貴重な施設だ。



▲但馬空港の新型機

予算決算特別委員会審査意見

予算決算特別委員会には、各常任委員会（総務、文教民生、産業建設）を単位として、3つの分科会が設置されており、それぞれの分科会に常任委員会と同様の所管事項について審査を委託しました。

平成30年度一般会計決算

事業評価に基づいて 効果的な施策を

戦没者追悼式事業について

戦没者追悼式は、遺族会会員の高齢化及び会員数の減少により、年々参加者が減少傾向にある。遺族会会員のみならず、広く一般の方も多く参加でき、全市的に追悼と平和を祈念する事業となるよう内容を検討されたい。

観光協会等支援事業について

観光協会の組織を強化し、今後さらなる観光振興の推進を図るため、補助金交付要綱の見直しも含め、補助金交付を適正に執行されたい。



▲厳かな戦没者追悼式

歴史資料館運営管理事業

各資料館の利用者数が軒並み減少しており、特に年間の利用者数が0の施設がある。市内の歴史文化を学ぶ絶好の施設であるため、各小中学校と連携し、次世代を担う子どもたちに歴史学習の機会を提供するなど、施設の活用を検討されたい。



▲予算決算委員長 報告

滞納未収金について

市税をはじめ、滞納未収金を解消することは、依然、大きな課題である。督促状の送付や電話催告、訪問徴収、管理職徴収、差押えなど、多様な対策を講じていることは評価できるが、今後、特に支払能力のある滞納者に強い姿勢で臨むなど、滞納未収金の整理に努められたい。

平成30年度下水道事業 特別会計決算

未収債権の適切な 保全と執行を

滞納未収金について

未収金対策において、未納者数に対し、催告実施者数の割合が少ない。今後、徴収業務の民間委託に向け、全未納者への催告実施等、未収金対策について改善されたい。



朝来市鉱石の道神子畑交流館
条例制定について

神子畑いろりハウスが
観光拠点施設へ

地方創生拠点整備交付金事業により整備する朝来市鉱石の道神子畑交流館について、その設備及び管理に関し必要な事項を定めた条例を新設しようとするもので、総務常任委員会で審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。

質疑

吉田議員

問 交流館の施設で物品販売のために出店する場合、指定管理者は条件を付けることができるとなっているが、それは場所代等の料金を含むのか。

答 施設利用には、時間ごとに定めた利用料金が必要である。ここでいう必要な条件に、利用料金は含まれない。



▲改修される神子畑いろりハウス

丸尾議員

問 観光振興の拠点施設として新しく生まれ変わるため、地元の方の意見が十分反映されるように協議をしているか。

答 これまでからも区長とは逐次相談をしている。また、区が組織されている「神子畑鉱石の道推進協議会」とも協議を進め、今後の活用に向けて対応したい。



令和元年度一般会計補正予算

こども園等の
副食費無償化

令和元年度一般会計補正予算（第2、3号）は、現計予算額に4億2,470万円を増額し、総額212億20万円とするものです。
予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

補正予算の主な内容

- ・山東生涯学習センター機能を山東庁舎へ移転する整備費 1億6,040万円
- ・和田山ジュピターホールのトイレを全面洋式化する整備費 1,400万円
- ・交通安全点検に基づく通学路安全対策工事費 800万円
- ・公立こども園、私立保育所・こども園の給食費（副食費）を無償化する事業費 510万円
- ・手話奉仕員派遣費用 26万円

質疑

西本議員

問 通学路安全対策工事は、学校やこども園等と協議し点検するのか。

答 市道の道路管理者として、未就学児の移動が想定される箇所を緊急点検し、危険と思われる交差点の交通安全対策工事を実施する。

鈴木議員

問 手話通訳利用の現状と、派遣される手話通訳者の人数は。

答 当初は10回の派遣を見込んでいたが、生涯学習講座への派遣希望があり各種講演会を合わせ28回の派遣を予定している。手話通訳者等奉仕員は11人登録があり、うち4名が市内の方。



9月定例会で賛否が分かれた議案

議 案 名	議員 名	嵯峨山 博	藤本 邦彦	鈴木 逸朗	岡田 和之	藤原 正伸	小山 裕	森下 恒夫	吉田 俊平	浅田 郁雄	太田 茂	森田 龍司	足立 義美	丸尾 行子	上田 幸広	西本 英輔	日下 茂	能見 勇八郎	瀧本 稔
南但広域行政事務組合規約の変更について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南但広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度朝来市一般会計決算の認定について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度朝来市介護保険特別会計決算の認定について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度朝来市後期高齢者医療特別会計決算の認定について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※

賛成した議員は○ 反対した議員は● ※議長には通常、表決権がありません。

9月定例会にて全会一致で可決・採択された議案

朝来市鉾石の道神子畑交流館条例制定について	令和元年度朝来市下水道事業会計補正予算(第1号)について
朝来市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	令和元年度朝来市一般会計補正予算(第3号)について
朝来市職員の給与に関する条例及び朝来市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	平成30年度朝来市住宅資金貸付事業特別会計決算の認定について
朝来市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	平成30年度朝来市国民健康保険特別会計決算の認定について
朝来市消防団員の定員、任免、服務及び給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	平成30年度朝来市宅地開発事業特別会計決算の認定について
令和元年度朝来市一般会計補正予算(第2号)について	平成30年度朝来市休日診療所特別会計決算の認定について
令和元年度朝来市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	平成30年度朝来市下水道事業特別会計決算の認定について
令和元年度朝来市休日診療所特別会計補正予算(第1号)について	平成30年度朝来市財産区特別会計決算の認定について
令和元年度朝来市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	下水道施設の改築に係る国庫補助制度の維持、拡大を求める意見書の提出について
令和元年度朝来市水道事業会計補正予算(第1号)について	

議会広報特別委員会調査報告

議会だよりアンケートから

見えたこと

【調査概要】

議会広報特別委員会では、議会だよりが市民の皆さんにより親しまれ、分かりやすく読みやすい紙面となるよう、また市民と議会とをつなぐツールとなるよう、毎号の編集作業を行っています。この度、皆さんの議会だよりに対する思いを聴取するため、「議会だよりアンケート」による調査を行いました。アンケートは5月に行った議会報告会に参加者へ配布し、8月発行の議会だより第68号に挟み込んで全戸配布しました。

【分析結果】

問1 性別・年代

男性が115件(82%)、女性が26件(18%)で、年代別は60代が69件(45%)と最も多い。回答に占める男性の割合が非常に高く、若年層の回答は少なかった。性別、年代共に偏りのある結果となった。

問2 議会だよりを読む頻度

「いつも読む、ときどき読む」を合わせると136件(89%)で、全体として概ね読まれているが、女性や若年層には読まれていない傾向にある。

問3 関心のある記事

「一般質問」が119件(42%)で最も読まれている

が、女性は「シリーズ」に比較的関心がある。

問4 読まない理由

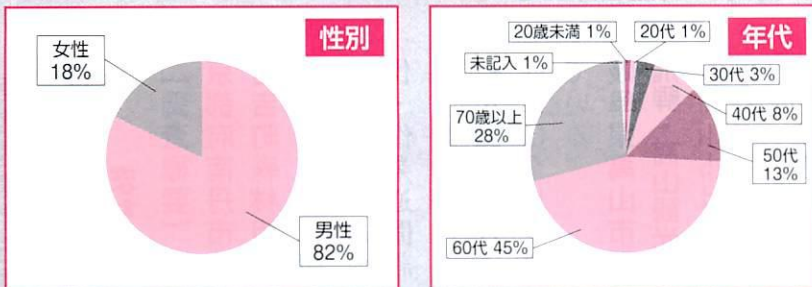
「関心、時間が無い」が最も多いが、60代以上の男性は、「他の手段で議会の情報が得られる」との回答が多い。

問5 読みやすさ

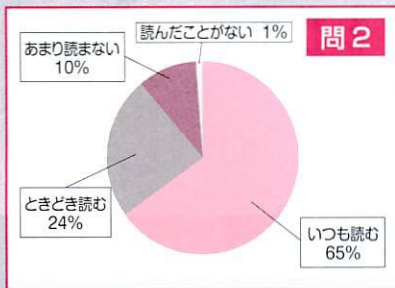
「読みやすい」が75件(52%)と概ね肯定的に受け止められているが、70歳以上の方からは「どちらでもない」との回答が最も多くなっている。

議会だよりアンケート結果

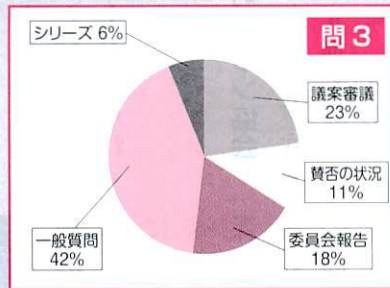
問1 あなたの性別と年代を教えてください



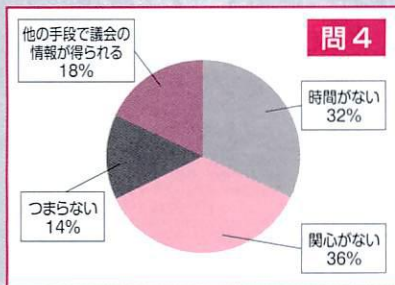
問2 議会だよりを読んでいますか



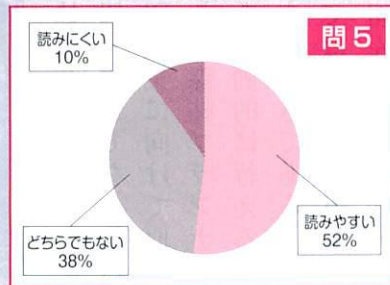
問3 関心のある記事はどれですか



問4 読んだことのない理由はなんですか



問5 紙面は読みやすいですか



【委員会のまとめ】

今期委員の2年間の活動と今回のアンケート集計を踏まえ、次のとおりまとめました。○アンケートは読者分析を行う上で効果的かつ有意義な手法であるため、定期的・継続的に実施すること、対象者を無作為に抽出することが望ましい。

○読者層を増やすため、女性や若年層にも興味を持ってもらいやすい記事や特集を掲載することや、片仮名や行政用語の多用を避けることが望ましい。○編集技術向上のため、議会広報クリニックス等の研修を隔年程度で受講することが望ましい。

テーマを掲げて所管事務
調査に取り組んでいます

産業建設常任委員会調査報告

農業推進戦略プラン

出口戦略を明確に

【調査概要】

朝来市農業推進戦略プラン2019は、「作る農業から儲ける農業」を掲げ豊かな産地形成、流通業者、消費者、農業関連団体と連携を図り、戦略的かつ具体的にプラン実現のため目標数値を定め、各種施策を展開するため、平成31年3月に策定された。本調査では、主に出口戦略について、現状の進捗状況及び課題について、調査を行った。

【委員会のまとめ及び意見】

現状の進捗状況及び課題について説明を受けたが、出口戦略に係る、市としての方向性が不明確であった。本来の目指すべき姿である「儲ける農業」を達成するために、明確な方向性を示すべきである。



▲まもなく解禁・特産岩津ねぎ

産業建設常任委員会視察報告

林業・観光の まちづくりを視察

【調査概要】

京都府南丹市

日吉町森林組合の取組み

日吉町森林組合は森林の所有者と組合で経営計画を立て、間伐・作業道開設・木材生産を実施。組合が中心となり提案型集約化施策を行ってきた結果、町内ほぼ全域で森林保全が図られている。

岐阜県高山市

飛騨・高山観光コンベンション協会

高山市は、昭和45年、国鉄キヤンペーンにより観光地として注目を浴び始めて以降、町並みを守り地域資源を生かしながら観光のまちづくりに取り組み、結果、現在では年間450万人前後の観光客が訪れている。この取組みの中で自然とDMOが形成された。

【委員会のまとめ及び意見】

○日吉町では、森林施業プランに基づき組合が中心となって計



▲視察の様子（日吉町）

画的に森林保全を行っている。本市も、個人施業でなく集約化による集団施業に向けて取組むべきであり、森林プランナー等、森林経営を計画的に行える部署等の設置をすべきである。
○高山市では、多様な組織が連携し取り組んだ結果、観光地として成功している。当市も同様な取組みが必要で、併せて新たな観光資源の発掘や価値を創り上げる創造力も必要であり、その創造力を兼ね備えた朝来市版DMOの設立に期待したい。

DMOとは、戦略的に「稼ぐ」地域づくりを行う組織のこと

部活動は学校教育の

一環として

【調査概要】

梁瀬中学校女子バスケットボール部における保護者による体罰事案は、平成30年8月12日、練習を見ていた当時3年生部員の保護者1名が、叱咤激励を理由に自分の子を含む3年生部員4名の頭部を平手で叩く事案が発生したことに端を発する。

この事案を目撃した2年生部員1名が、9月頃からその保護者を見るたびに恐怖心を抱き、不登校となり、同年11月22日、保護者が梁瀬中学校を訪問。部の退部と転校を申し出た。この保護者の訴えにより、学校側は初めて8月の事案について認知した。翌12月から、学校と教育委員会は聞き取り調査やアンケートを実施。また、部の保護者と面談を実施し、部活動と社会体育活動との棲み分けについて協議を行った結果、「保護者申し合わせ事項」が作成された。

教育委員会では、平成31年3月に「朝来市中学校部活動ガイドライン」を作成し、翌4月から施行している。また、令和元年7月には、「中学校の部活動を目的とする転入・転居についての考え方」をまとめた。

【委員会のまとめ及び意見】

本市の実情を踏まえた部活動に関する基準が明確にされたことは評価できる。

教育委員会は、文化部の活動も含め部活動が学校教育の一環であることを十分認識するとともに、これらガイドラインや基準の周知徹底を図るため、学校の管理者、部活動に携わる教職員、さらに保護者の理解と協力を得られるようしっかりと説明と指導を行われた。

9月定例会からタブレット端末の利用が始まりました

朝来市議会では、議会改革の一環として、議案書などの会議資料をタブレット端末で閲覧できる文書共有サービスを導入しました。年間運用費は約210万円です。8月中に操作方法等の研修を受け、9月定例会では紙の資料と併用しつつも、1年後には完全ペーパーレス化を目指しています。

完全ペーパーレス化になると、印刷代等年間約330万円の経費削減となります。また、定例会だけでなく、普段の議員活動にも活用できるため、有効利用が期待されます。



▲本会議の様子



▲研修会の様子

市政を問う



一般質問では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い質し、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容は各議員が560字以内にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

◎創生総合戦略の見直しを

問 7月1日に発表された基準地の地価調査によれば、朝来市が近畿で一番地価が下落した。地価は、経済状態を表す指標の一つと考える。現在、第2期の創生総合戦略を改定中であるが、経済対策を強力に進めるよう計画変更すべきではないか。

答 第1期は、しごとづくり、まちづくりの力を入れてきた。第2期は、これらを一層強力に進め、経済対策をしっかりと行う。令和2年度の予算についても、これまでの予算を見直して、まちづくり（ハード事業を含めた）、しごとづくり（小売り業・サービス業を含めた）分野にも、予算配分を増やすべきではないか。

問 投資効果を十分に検討して、JR和田山駅自由通路などのハード事業にも注力するなど、経済対策を進めたい。

◎夜久野高原の花畑の公開

問 夜久野高原の朝来市所有地



元気な文化交流都市を

目指して

太田 茂



では、現在美しい花が咲誇り、素晴らしい景観となっている。この景観を一般開放して観光地としての検証をしては。

答 現地は美しい景観が広がっており、9月下旬から一般開放して、観光化の社会実験を行う。来訪者のお越しを歓迎したい。

問 夜久野高原に至るアクセス県道の、宮からの峠部分の改良について、兵庫県に強力に要望していただきたい。

答 ハードルは高いが、県にはしっかりと要望したい。



▲夜久野高原の花畑



朝来市農業の振興を

足立義美

目指して



◎担い手の確保と育成を

問 認定農業者が農業を支える中核になると思うが、令和3年度の目標値42名に向けての取り組みは。

答 認定農業者を増やすことは、農業の活性化に必要なことなので、総力を挙げて目標達成に向けて努力したい。

問 移住定住による新規就農者の確保と育成を進めるとのことであるが、現在までの状況と今後の取り組みは。

答 直近5年間の移住定住による新規就農者は18名で、市の新規就農希望者研修制度を活用されている方は17名おられる。今後も一層努力したい。

◎岩津ねぎのブランド強化を

問 平成30年度の生産面積は25haとなっており、市農業推進戦略プランでは、令和5年度に2倍の50haを目指すとしているが、急激に伸ばす手立ては。

答 戦略プランでも岩津ねぎを最重要作物と位置づけている。



▲日本三大ねぎの「岩津ねぎ」ブランドの強化を

多様な出荷形式や周年栽培品種の導入等を推進したい。

問 日本三大ねぎ周知看板のさらなる設置等により、イメージアップを図るべきだと考えるが。

答 PR活動としては、アグリフードエキスポや全国ねぎサミットへの出店、岩津ねぎ料理コンテスト等実施している。ご指摘の件についても、しっかりと検討を重ねてまいりたい。

※他に「朝来市農業の現状と課題」「有害鳥獣対策の充実」について質問しました。



市内学童保育について

西本英輔



問 児童一人当たり1・65㎡の専有面積が守られているか。

答 登録数から見ると一人当たりの面積が非常に狭くなっている施設もある。非常に狭い所で大勢の子供たちが活動している実態もあるが、そういうことがない様に検討したい。

問 特性をもつ、いわゆるボーダー層への支援として人員の加配は考えているか。

答 人員の確保についても色々と考え検討している。

問 学童保育は学校生活の延長である。小学校と学童保育間の連携はどのように実施しているか。

答 昔、学童保育の支援員と校長あるいは管理職が情報交換した例があり、現在もそのような形がとられていると想像する。今後とも、きっちりと把握してアドバイスできることがあればやっていきたい。

問 万が一、いじめ等があった場合、将来の不登校等に繋がる



▲子供たちの為により良い学童保育環境を！

かもしれない。アドバイス云々ではなく、積極的に教育委員会として連携に努める必要があると思うが。

答 早期発見、早期対応が必要である。普段から学童保育と学校の連携、連絡を密にするよう努めたい。

問 教育長は、学童保育施設各所を視察されたことはあるか。

答 今後、視察を行い、実態を自分の目で確かめたい。

※他に学校給食についての質問をしました。



子どもたちへの 教育の充実を

嵯峨山 博



市の人口政策について

能見 勇八郎



◎学校現場における問題について

問 少人数学級の取り組みを市費により行っている自治体がある。本市の考えは。

答 財政のみならず、人材の確保が難しい状況にある。他の自治体の動向を把握し研究を進めたい。できるだけ良い教育環境の下で子どもたちの教育が展開できるように努力する。

問 中学校では教職員の配置の関係で、数学など専門外の教科を担当しなければならない状況にある。市内の子どもたちが平等に教育を受けられるよう教職員の配置、異動に対する配慮が必要である。

答 学級数により担当教科の教員数は変わるが、偏りをなくし教職員の負担軽減や市内中学校の生徒が同じように教育や指導が受けられることも十分念頭におき、人事配置を行っていく。

◎播但線高速車両の導入について

問 寺前から姫路間の車両が老朽化により入替えを行うことも



▲ゆっくり走る列車（播但線）

考えられる。同時期に高速車両の導入や姫路までの直通に対する協議を行う必要がある。

答 乗り継ぎ改善や高速車両の導入について、車両入替え時に検討いただくことを継続して要望をしている。具体的な導入時期は決まっておらず、導入の有無については車両入替え時に検討したいとの回答は受けているが、播但線利用者が減少傾向にあることが大きな課題である。

◎人口政策について

問 人口の増減はどうか。

答 自然増減は近年250人前後の減少であり、社会増減は好転の兆しを見せ、平成30年度は107人の減少であった。

問 基本計画では年間の婚姻数を145組、出生数10%増としているが、どう達成するか。

答 山東支所での婚活パーティー等、行政としても婚姻につながる出会いの場を創出し少しでも成婚率を高める施策や、未婚率の低下抑制、安全・安心な出産環境の整備、安心して子育てができる環境整備をテーマに重点施策を位置づけている。

◎播但線の電化について

問 播但線複線電化促進期成同盟会の幹事市を姫路市から受け継いだが、今後の活動は。

答 この期成同盟会の目的は複線化、電化であるが、JR福知山支社への要望、回答等を踏まえ当面ハイブリッド車両や蓄電車の導入を要望し、高速化による利便性向上の実現を目指している。県もこの方向の考えである。

問 そのような要望をしている内に朝来市の経済的な地盤沈下が進めば、益々電化の実現は困難になるのではないか。新幹線等、鉄道の生命は高速大量輸送である。人口5万の赤穂に新快速が入っている。播但線の電化こそ本当の高速化である。県を説得し、行うべき事業でないか。

答 電化には利用者、地形の問題等の困難がある。既定方針通り要望して行きたい。



▲播但線電化で朝来市に新快速を！

業について
問 学校が児童生徒はもとより地域にとっても安全安心な場所となるために、平素からの学校と地域の関わりが重要で、学校運営協議会制度はそのためのツールとして有用と考える。竹田小学校での先行設置の評価を踏まえ、今後の展開について伺う。
答 学校運営協議会が学校と地域を繋ぎ、子供達が地域と触れ合い地域を知ることにより、生きる力やふるさと愛を醸成すること、また地域が活性化することとに役立っていると評価している。これらを踏まえ、各小中学校への学校運営協議会の来年度の設置を目指し準備を進める。



▲大人も予防接種

問 症状に苦しむ方も多い。予防可能な病気であることの啓発や費用助成によって、予防接種を促す取り組みが必要と考えるが。
答 带状疱疹の予防を目的とする水痘ワクチンの接種は、現在は任意接種として承認されているが、これに関する市からの積極的な啓発・勧奨については、今後の国からの情報の動向を把握し、医師会との調整の上で進める必要があると考えている。
 ※他に、幼児教育保育の無償化について質問しました。

問 第6回避難訓練の成果と課題は。
答 成果としては、市民一人一人や地域ぐるみの助け合いによる迅速な避難行動の実践及び防災意識の高揚が図られた。課題については、参加者アンケートを集計中で把握できていないが、参加者数の固定化、若年層の参加が少ない、避難訓練の内容のマンネリ化などの声もある。

問 地区防災計画の概要と、作成に対する市の支援の内容は。
答 住民が自助共助の精神に基づき、地域の防災力を高めるために必要な避難行動や避難所運営の役割分担、防災訓練、資機材の備蓄など、各地区の特性に応じた防災活動のルールを定めるもので、県・市の支援として専門家や防災士の派遣など地区の要請に応じて行う。

問 他市町では、災害発生時どの様に行動をとれば良いのか事前に自分で計画を立てる「マイ



▲マイタイムラインを作ろう！



心身共に健やかに

藤原正伸



普段から災害に
備えよう！

上田幸広



タイムライン」の取組や、年に1度、避難場所や避難経路、緊急連絡方法の確認などを家庭で語り合う「家族防災の日」の取組があるが、朝来市でも導入すべきでは。
答 「マイタイムライン」については状況をしながら検討する。「家族防災の日」は特定の日として定めるのではなく、朝来市一斉避難訓練の日を、災害に備えて自分たちがどう行動したらいいか話し合っていたらいい。



全ての子どもたちの 笑顔のために

藤本 邦彦



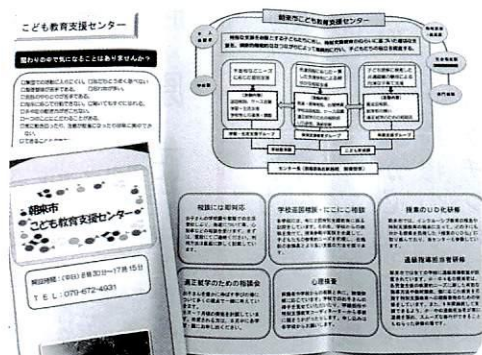
○不登校児童生徒について

問 市内の小、中学校の状況は。
答 今年度、1学期7月までの不登校児童生徒は小学校4名、中学校25名。昨年度は小学校5名、中学校は30名。ここ数年はやや減少してきている状況。

問 多いことに驚いている。不登校児童生徒の普段の生活は。
答 家庭で過ごしている子どもがほとんど。家庭訪問、電話連絡等で家での様子や学習の状況について確認をしている。

○「適応指導教室」について

問 不登校は学校やクラスに馴染めないという事が原因であることが多い。そんな子どもたちが学習や活動できる場所が必要。
答 不登校の子どもたちが気軽に利用できる場所を整備することは必要。いわゆる「適応指導教室」の様な施設の設置に向けて、研究、検討を進めていきたい。具体的なことについては、市長部局、関係部局と十分協議を重ねながら進めていく。



▲お気軽にご相談下さい。
Tel 079-672-4931

ねながら進めていく。

問 学校に行けなくなった子どもたちにも無限の可能性がある。この大切な子どもたちが、笑顔を取り戻せる場所を作るべき。市長の考えは。

答 朝来市の未来を創る子どもたちが、夢を追いかけて生き生きと笑顔で成長していけるよう、不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室については、教育委員会ともしっかりと連携を図りながら設置に向けて前向きに検討していきたい。



補聴器に公的補助を

岡田 和之



○難聴は認知症のリスク要因に

問 加齢により難聴が進行すると、人付き合いや外出がおっくうになり、ひきこもりになることもある。早期の補聴器使用が必要だが大変高額だ。社会参加や認知症予防のためにも補聴器の購入補助制度を求めます。

答 市独自の補聴器補助は財源の検討も必要。国や県の補助制度が創設されれば取り組みたい。

○子ども園副食材料費を無償に

問 10月からの幼児教育無償化で市の財政負担はどう変わるか。

答 国と朝来市の利用者負担額の差額は半年で約8000万円。

問 保育料の軽減に充てていた予算が大きく浮くことになる。

答 幼児教育無償化によって副食材料費は保護者負担になるが、浮いた予算を副食材料費の無償化に充てるよう求める。

問 副食費の保護者負担は無償化を図ってほしい。

答 子どもの口腔崩壊の実態は、虫歯が10本以上あったり、



▲こども園給食の
副食材料費を無償に

問 歯の根しか残っていないような歯が何本もある「口腔崩壊」と呼ばれる生徒の実態は。
答 市内の小中学校で10本以上の虫歯がある児童・生徒は小学校で10名、中学校では0名。
問 歯科健診後の治療勧奨などのフォローは行っているのか。
答 行っているが、治療されたかは掴んでいない。
問 治療を進めるうえで歯科の窓口負担がネックになる。高校までの通院費の無料化を求める。
答 必要性を更に研究したい。



生産98%しめる
家族農業を支える農業政策を

鈴木逸朗



朝来の活力ある
まちづくりを拓く

森田龍司



「食糧自給率37%」と公表

問 農水省は、昨年度の食糧自給率が過去最低と公表した。

答 年々下降しており、目標達成には多大な努力を要す。

国連「家族農業の10年」開始

問 自給率低下の理由は、生産基盤の弱体化。自給率を高めるためにも、家族農業の支援を。

答 「家族農業の10年」は、食糧安定保障と貧困撲滅に大きなものがある。

農業生産の98%は家族農業

問 市の家族農業はどの程度か。

家族経営支援する所得保障を

問 市の戸別所得補償制度復活に必要な予算とその気持ちは。

答 反当り7500円で約六千万円。容易に復活させることは難しい。不満を受け止め注視。

就学援助制度受給者の推移は

問 10年間の推移とその要因は。生活保護基準見直しの影響は。

答 約25名減少。児童生徒も減少で率は横ばい。また見直し以

前の保護基準を適用している。

小学校入学時の申請が力ギ

問 受給者の全国平均は約15%だが、市は約10%。なぜか。

答 今後分析してみたい。

新入学学用品費の入学前支給

問 3月支給に問題はないか。早めの支給や、受付を柔軟に。

答 複数回周知、受付延長も。

温泉ミニディ要望の検討は

問 ふれあい市長室での要望への代替策を含めた検討状況は。

答 身近な所での実施事業を推奨。地域行事での計画を。



▲JA組合長アンケートでも、最大の55%が所得補てん対策を要望

播磨ふれあいの家について

問 播磨ふれあいの家が、来年3月末をもって閉館すると聞くが、その状況について尋ねる。

答 ご指摘のとおり、播磨町から事業終了の方針が打ち出された。本市から強く事業継続を要望したが、方針変更はできないとのこと。現在も施設の存続について協議している。

問 それでは、この播磨ふれあいの家の必要性について、市長の考えを聞く。

答 平成6年のオープン以来、市民の多くの皆様が利用され、市民の憩いの場として親しまれ、地域の雇用創出や活性化に大きな役割を果たしている。公共施設再配置計画の策定を進める中にも、この施設は地域活性化の役割を果たすとの認識を持っている。

問 あさご芸術の森美術館や多々良木フォレストトリゾートCodaとの連携施設として、周辺の観光資源と繋ぐ新たな観

光ビジネスモデルの創出から、この施設の必要性は高いと思う。施設継続について、播磨町との交渉が難航しても、朝来市が費用負担してでも、施設の継続ができるようにお願いしたい。市長の考えは。

答 この施設の必要性や重要性、あるいは地域におけるこの施設の持つ大きな意義は、以前から大変高く評価し、認識しているところであり、今後のありようについて慎重に対応していきたい。



▲あさご芸術の森美術館周辺



梁瀬中問題に終止符を

森下恒夫



◎保護者による暴力について

問 暴力事案が起きてから3ヶ月後に、保護者の告発により事件が発覚した。学校現場の隠蔽体質に問題が有ると思うが。

答 部活動の顧問や社会体育指導者、体罰を行った保護者に体罰に対する認識が甘かった。校長への報告が遅れた点も問題だ。

問 いじめ防止対策推進法には、重大事態に対し、調査委員会を設けるとあるが、設置したか。

答 子供の身体生命に及ぶ重大事態ではなく設置していない。

問 「見ざる、言わざる、聞かざる」といった学校の体質と体罰に対する問題意識の欠落、体罰の裏にある勝利至上主義が問題では。

答 暴力、パワハラは指導とは言えず、技術の向上にも繋がらない。

◎スポーツ留学について

問 平成29年9月定例会一般質問で同僚議員が、部員の大半が留学生である、と問題提起され

たが、その後の対応は。

答 他市町からの転入が多いことに懸念を持っていた。問題提起後、保護者の同居確認をし、複数家庭が賃貸住宅等で共同生活をしているケース等指導し是正した。

問 但馬内の留学の実態は。

答 但馬内では梁瀬中のみの校区制度違反の疑いの強いスポーツ留学を根絶する決意は。

答 非常に憂慮すべきことで、教育委員会の方針の徹底を図る。



▲中学校における部活動は
いかにあるべきか？

◎市の将来像について

問 市長は市の将来像が描けておられますか。

答 市民が、元気なまちを実感でき、誇りを持って、愛し続け、尊敬し合い、帰ってきたくなるなど、皆が生き生きと夢や想いを語り合えるまちづくり、言い換えれば、幸福が実感できる都市を目指している。

問 市民の皆様が理想とする朝来市を提示して来られたか。

答 幸福を実現する政策や施策が一見して分かるかは問題もあるが、「未来へつなぐ兵庫中央交流都市」や「あなたが好きなまち・朝来市」は在るべき姿を示したもので、どういう思いかはしっかりと示していきたい。

◎教育振興について

問 秋田県東成瀬村から様々なことを学び取り入れてはどうか。

答 小学から中学校までの先生が同じ手法で9年間一貫した教育をされており、こういうことをやれば基礎学力や家庭学力も



市の将来像を持ち、実現しよう！

吉田俊平



きつちりとつくんじゃないかと感じた。その学習法は学校に紹介しながら取り入れたい。

問 私が提案したもののだが、どのような条例を目指しているか。

答 住み慣れた地域で健康で暮らせ、幸せに暮らせることを願い、身体の健康だけではなく、生き甲斐を感じながら健やかに過ごすことができる期間を如何に長くするかということも重要であろうなどと考えている。



▲学力日本一を目指そう！
(東成瀬村小学校の授業風景)



市の活力維持は

大企業誘致と移住施策

日下 茂



路線価下落はまちの活力喪失

問 市長は「朝来市だけ良くなっているのか」が口癖。朝来市の路線価は近畿一の下落。気がつけば朝来市が一番悪くなっているが、現在も同じ思いか。

答 当市も移住、子育て施策等を講じているが、但馬全体で危機感を持って更に尽力したい。

問 交流人口、消費人口の減少が路線価下落を招いている。公共施設の再配置、文化会館等の集客にも原因があると思うが。

答 文化会館の運営は市民の声を聞きたい。生野銀山、竹田城、神子畑選鉱場の活用で観光客を増やしたい。

問 交流人口増加に播但線の電化、播但連絡道の経年無料化を強く要望すべきだ。有料は遺憾。

答 建設費の償却等難しい面もあるが、他の団体と連携し要望したい。

e-Taxの課税ミスは遺憾

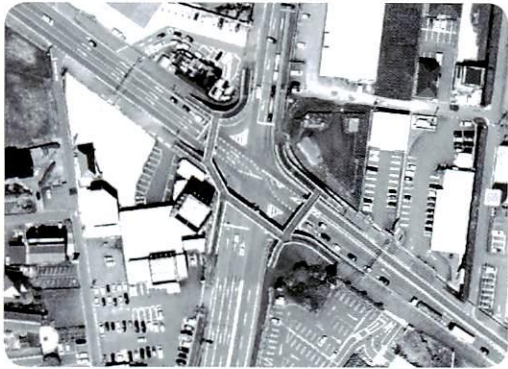
問 課税ミスは納税者の指摘で発覚した。再発防止は充分か。

答 大変申し訳ない。再発防止を徹底したい。

公認競技場整備で選手勧誘を

問 和歌山県串本町はスポーツ公園を整備し400mグラウンド、野球場、プール、テニスコート等公認の競技場を有する。国内外からの合宿や競技会の開催など、まちの活性化の一助となっている。当市も正式な陸上競技場を整備すべきでないか。

答 ぜひ欲しいと考えている。十分研究して対処したい。



▲朝来市の路線価は近畿で最大の下落（和田山町玉置）

2年間ありがとうございました



議会広報特別委員会は平成29年11月に新たな委員で出発し、令和元年10月末に2年間の任期を終えました。

この間、編集会議と並行し、議会広報クリニックの受講、丹波市などへの視察研修等を行い、それぞれで学んだことを活かしながら、紙面を少しずつ見直してきました。

議会は、市民の皆様に市議会に対する理解と関心を持っていただき、より開かれた市議会とするため、議会だよりを発行しています。

市民の皆様には、今後とも議会だよりをご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。

「夫婦で夢を叶える、

農業ライフ」

(和田山町秋葉台区在住)

移住されたきっかけは？

二人とも自然が好きで農のある暮らしがしたいと考え、「夫婦で作った野菜を使い、飲食店を開きたい」という妻の夢を叶えるため、1年前から移住先を探していました。

朝来市を選ばれた理由は？

気さくな人の温かさを強く感じています。移住フェアで知り合った地域おこし協力隊の西村さんに移住経験の話や空家の案内をしていただき、その後、市の職員さんの熱心なサポートで、今まで知らなかった岩津ねぎの存在を知りました。NOUENを経営されている田中さんやトマト・イチゴを栽培されている坪井さんと出会えたことも移住を決めた大きな理由です。

寛子さんの想いは？

飲食店の経営は10年先の夢となり、今は野菜作りを経験しながら、夫の岩津ねぎへの想いを支えていきたいと思っています。



▲株式会社NOUEN岩津ねぎ圃場
(和田山町枚田) にて

学さんの岩津ねぎへの想いは？

料理の主役になれる野菜で、未だあまり知られていないからこそ、これから広めていけるところに魅力を感じています。

今後のご予定は？

岩津ねぎを初めて食べた時に「香りが良く甘くて美味しい」と感動しました。朝来市特産品の岩津ねぎをもっと多くの人に知って貰えるよう栽培に取り組み、市の活性化や、地域への恩返しに繋げていければと思います。

議会傍聴のご案内

本会議、常任委員会や特別委員会是一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴ができます。

本会議では、市政に関する予算や条例の提案、議員の質問、採決などが行われます。委員会では、本会議で付託された議案の審議のほか、市の事務に関する調査を行っています。

本会議の開催は、議会だよりのほか、ホームページや音声告知放送、ケーブルテレビの文字放送でお知らせします。委員会の開催日時は、議会事務局へお問い合わせください。

なお、団体で傍聴を希望される場合、資料の都合がありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡をお願いします。

12月定例会の予定

月	火	水	木	金
11/25	26	27	28	29
			本会議	
12/2	3	4	5	6
			一般質問	一般質問
9	10	11	12	13
一般質問	総務 常任委員会	産業建設 常任委員会	文教民生 常任委員会	総務 常任委員会
16	17	18	19	20
産業建設 常任委員会	文教民生 常任委員会		常任委員会 (予備日)	
23	24	25	26	27
予算決算 特別委員会		本会議		

傍聴など、お問い合わせは

議会事務局 TEL 672-1930